

第36回

東北ストーマリハビリテーション研究会

会 期 : 2023年 4 月 15 日 (土) 13:00~

会 場 : 弘前大学大学院保健学研究科 第63講義室
(青森県弘前本町66番地1)

当番世話人 : 諸橋 一 (弘前大学 消化器外科)

プログラム

□ 一般演題

□ パネルディスカッション (各施設からの報告と総合討論)
テーマ「おらほのストーマケア事情 in 東北」

特別発言 : 宮城大学名誉教授 徳永 恵子 先生

□ WOC関連用品の展示

一般演題・パネリスト募集中

募集期限 : 2023年~~1月31日まで~~

2月28日迄延長

参加方法

【参加費】 1,000円（現地徴収）

【抄録】 当日、会場にてお渡しいたします。

募集要項

【演題募集期間】 2022年11月14日～2023年~~1月31日~~

2月28日迄延長

【募集テーマ】

一般演題

症例報告、研究発表など広く募集します。

テーマトピック例：

ストーマの術前・術後の管理、管理困難なストーマ、在宅ケア、創傷ケア、栄養ケア、ストーマ自己管理の工夫、ストーマケアにおける地域連携等

パネルディスカッション

各施設、地域のストーマケアの困りごとや驚くエピソードを募集します。東北全県からのパネリストの参加をお待ちしています。特別発言として徳永恵子先生が参加されます。

【発表方法】 すべて口演とします。

※詳細については採否と併せてご案内します。

一般演題

発表時間 5分、質疑応答 3分

パネルディスカッション

発表時間 5分、総合討論 30分

【演題登録】

①演題名、②所属、③演者名、④共同演者名、⑤一般演題かパネルディスカッションの希望、⑥抄録（本文800字以内）を記載したメールを事務局までお送りください。

E-Mail : k.ota@hirosaki-u.ac.jp

【お問い合わせ】

演題募集に関するお問い合わせは、運営事務局までメールにてご連絡ください。

アクセス

弘前駅から

- ◆徒歩の場合（約35分）
- ◆タクシーを利用する場合（約10分）
- ◆バスを利用する場合（約20分）

JR弘前駅前（中央口）【6番のりば】
「駒越線」に乗車、【大学病院前】で下車

JR弘前駅前（中央口）【8番のりば】
「金属団地・桜ヶ丘線」に乗車、【本町】
で下車

JR弘前駅前（中央口）【D100のりば】
「土手町循環100円バス」に乗車、【本町】
で下車



保健学研究科は⑧⑨になります。

駐車場と会場への入り方



保健学研究科は⑧⑨になります。

駐車場（青杣）

無料の駐車場を開放します。ご利用ください。

※その他にも周辺に有料駐車場があります。

校舎への入り口

① 駐車場側校舎入口（自動ドア）

自動ドアより入り、エレベーター（もしくは階段）で6階まで行き、左に曲がってすぐの講義室

② 正面の校舎入口（自動ドア）

自動ドアより入り、順路に沿ってエレベーターのある棟まで進んでください。エレベーター（もしくは階段）で6階まで行き、左に曲がってすぐの講義室

プログラム

13:00 開会の挨拶

東北ストーマリハビリテーション研究会 代表世話人

東北大学大学院医学系研究科外科病態学講座消化器外科学分野 教授 海野 倫明

13:05~15:15 一般演題

セッション1

座長：十和田市立中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 木村 英子

1. 当院のストーマ術前オリエンテーションの取り組み

石巻赤十字病院5階東病棟 大坂 安奈 ほか

2. 退院後の生活を見据えた入院早期から開始するストーマケア情報共有の取り組み

公益財団法人宮城厚生協会坂総合病院看護部 渡邊 彩美 ほか

3. コロナ禍における人工肛門造設予定患者に対する術前の情報提供の工夫

東北大学病院看護部 佐竹 ひとみ ほか

セッション2

座長：八戸市立市民病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 土橋 美歌子

4. 退院後に尿の漏れを繰り返すことでウロストミー外来を受診した1例から見えた課題

山形県立中央病院 花輪 智世 ほか

5. ストーマケア患者の意思決定支援～難渋症例の多職種連携について～

公立大学法人福島県立医科大学附属病院9階西病棟 加藤 昌子 ほか

6. ストーマ造設患者の初回ストーマ外来受診時の合併症の現状

十和田市立中央病院 笹森 祥子

7. ストーマケアエキスパートナース育成へ向けての取り組みについて

つがる西北五広域連合つがる総合病院 野呂 尚弘

セッション3

座長：青森県立中央病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 斉藤 朱美

8. 保存的治療で治癒しえたストーマ腸管穿孔、ストーマ周囲膿瘍の1例

八戸市立市民病院看護局 沼野 美幸 ほか

9. 筋層に至るストーマ粘膜皮膚離開に対してトラフェルミン製剤とキチン質を併用し管理した一例

一般財団法人脳神経疾患研究所附属総合南東北病院看護部 七海 陽子 ほか

10. 全身Ⅲ度熱傷により分層植皮術後に回腸ストーマを造設した一症例

八戸市立市民病院看護局 東野 ゆかり ほか

11. 急性骨髄性白血病患者のストーマ周囲皮膚障害のケアに難渋した2症例

地方独立行政法人市立秋田総合病院看護部 舟山 聡美 ほか

プログラム

セッション4

座長：弘前大学消化器外科 三浦 卓也

12. 傍ストーマヘルニアの4症例から学んだストーマ造設術の基本

八戸市立市民病院外科 中山 義人 ほか

13. U字回腸新膀胱造設術の排尿機能に関する検討

弘前大学泌尿器科 米山 高弘 ほか

14. ストーマ出口閉塞の原因と対応

東北医科薬科大学外科学第一 辻仲 眞康 ほか

15：15～15：35 * 休憩 *

15：35～16：50 パネルディスカッション 『おらほのストーマケア事情 in 東北』

座長：弘前大学大学院保健学研究科 藤田 あけみ

弘前大学医学部附属病院看護部 鎌田 恵里子

特別発言：宮城大学名誉教授 徳永 恵子

1. おらほのストーマ事情

弘前総合医療センター西3階病棟 竹谷 美咲 ほか

2. 「困っていませんか？」コールで短期間指導の限界をフォローする

弘前大学医学部附属病院第一病棟4階 長峰 麻衣

3. ストーマ周囲型壊疽性膿皮症患者の管理を振り返る

福島県立医科大学附属病院看護部 齋藤 優紀子 ほか

4. 高齢化率全国トップの県のストーマケア事情

大館市立総合病院看護部 安保 明子

5. ストーマケアにおける持続可能なケアを考える

公立七戸病院看護局 西谷 栄理子

6. ストーマ保有者を地域で支援し続けるために必要なこと

公益社団法人宮城県看護協会大崎訪問看護ステーション 大内 淑子

16：50 閉会の挨拶

第36回東北ストーマリハビリテーション研究会当番世話人

弘前大学医学部附属病院消化器外科・乳腺外科・甲状腺外科 諸橋 一